



石見だより

活力のあるまちづくりを

2014. 1. 3
第50号

編集/広報委員

発行/石見自治会 TEL44-0035

謹賀新年



新年のあいさつ
石見総代 川口晴夫

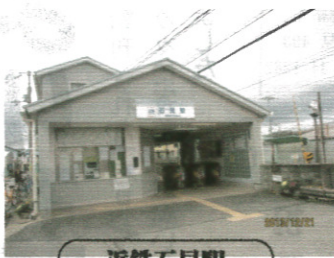
新年あけましておめでとうござい
ます。

自治会員の皆様におかれましては、
益々ご健勝で新年を迎えられ、心より
お慶び申し上げます。

私も総代に就任して、五度目の新年
を迎えることになりました。昨年も皆
様方より変わらぬご協力ご支援をい
ただき深く感謝いたします。

さて、皆様すでに御承知のように、
昨年十二月二十一日、近鉄は石見駅の
係員無配置を実施しました。

地元石見自治
会長として、近
鉄に対し無配置
撤回の旨、町当
局と連携をとり
ながら、三宅町
内各自治会及び
石見駅を利用さ



近鉄石見駅

れている近隣の田原本町内各自治会長
に撤回請願署名の協力を求めました。
その結果、七千七十一名の署名をい
ただき、それをもって近鉄に対し撤回
の請願を続けてまいりましたが、乗降
人員の減少等の理由により残念ですが
聞き入れてもらえませんでした。

しかし、これで終わりではなく、今
後も引き続き撤回の請願を続けていき
たいと思いますのでご支援いただきま
すようお願いいたします。

昨年七月近鉄石見駅周辺整備構想策
定懇話会が発足いたしました。メンバ
ーは十名で地元各界代表者で構成され
ています。八月から九月にかけて実施
されました住民アンケート調査及び十
月実施の石見駅前交通量調査により、
都市計画設計のコンサルタントを入
れ、駅前周辺のテーマやイメージ等を
検討しています。昨年三回懇話会が開
催され、駅周辺整備計画案を行政側に
提示の予定です。

次に、「石見だより」本号は、平成

十二年に創
刊されて以
来五十号に
なり歴史を
感じさせら
れます。

田村実前広
報部長及び
森田庄一現
広報委員長、

寄稿・編集に携わっていただきました
多くの方々に対し敬意を表します。

また、昨年「自治会ニュースコンク
ール」(毎日新聞社後援・奈良県協力)
に応募し、河合町長賞を受賞いたしま
したことは、誠に喜ばしい事でした。

これからも自治会活動の情報紙として
自治会員皆さんの絆づくりの一助とな
りますよう。願ってやみません。

それでは、どうぞ本年も良い年であ
りますよう祈念してあいさつといたし
ます。

交通安全

優良団体表彰

長年にわたり交
通安全活動に取り
組んできたことが
認められ、石見自
治会が受賞しました。



防犯委員長・副委員長

今号の内容

- P1 新年あいさつ
- P2 特集石見だより50号
- P4 総合防災訓練
※P6 防災クイズ
- P8 各種行事
- P10 石見に住んで1年半…

自治会活動を知ってもらおう

「石見だより」

前総代 池本 久隆

「石見だより」発刊の目的は、住民の皆様が自治会がどのように運営されているのかを知って頂くためでした。

自治会の行事には、春は「桜まつり」、夏は「自治会親睦旅行」「盆踊り」。秋は「秋祭り子ども御輿」、冬は「子ども餅つき大会」等、ありました。

多様な行事を各自治会長さんはじめ、各種団体、自治会員の皆様方のご協力を得て、大過なく楽しく執り行うことができました。

また、石見自警団「防犯防災」が奈良県より「に掲載しましたので、活動内容を一層理解して頂いたことを思い出します。

「石見だより」
発刊以来五十回
を迎え、今後も
豊かな内容で継
続されることを
願っています。



継承されている盆踊り

苦心したけど楽しい思い出

吉本 昌英

発行当時、私は自治会の書記を務めておりましたので「石見だより」の作成には、途中から加わらせていただきました。

その頃は、まだ、

手作りでしたので、部員の方々が持ち寄る記事を校正・編集・レイアウト等、パソコンを駆使し作り上げました。

各部員の思いを尊重し、A四サイズの限られたスペース内に収めるのに苦心しました。

後日、原紙を携え三宅町中央公民館の輪転機をお借りし印刷しました。用紙は、裏表と二枚分印刷しましたので、作業も二倍かかり一〜二時間費やしました。

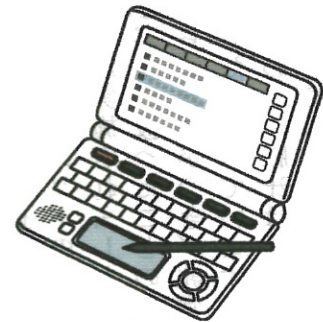
大変な作業でしたが、振り返れば楽しい思い出です。

創刊号から編集に

関わった一人として

島田 恭一

「石見だより」五十号の発行おめでとう



ございます。

年に四回発行として十年余り継続されることは大変な作業がともないます。

前総代、池本久隆さんの発案で「石見だより」創刊号から編集に関わった一人として敬服いたします。

石見自治会員の私たちは同じ認識にたち、住みよいまちづくりのため、連帯意識を持つことが必要です。その手段として「石見だより」のような地域情報機関紙が必要です。

長く続けると内容がマンネリ化することもあり苦労されることと思います。

石見における文化・スポーツの親睦・交流活動、また、身近な生活活動（公害・災害・交通安全・高齢者援助等々）をこれからも記事として紙面を賑やかにしていただければと思います。

今後も自治会活動の一環として「石見だより」の継続発行と自治会の益々の繁栄を祈っております。



防 災

第四回石見自治会防災総合訓練

十一月二十四日午前九時、奈良県北部直下を震源域とする、六・九の地震が発生し、奈良県北部において震度六強を観測した、との想定で防災訓練を実施しました。

防災訓練に参加して

西石見二丁目自治会長 打越 邦雄

今回、西石見自治会は、担架搬送の訓練を担当するモデル地区となり、いつもとは違った訓練となりました。

九時のサイレンは中止となった為（やっぱりサイレンは鳴らして欲しかった）、仕方なく参加予定者に一軒一軒声をかけて全員集合したのは九時十分。

先ず参加者点呼、搬送される人を担架に載せ、搬送する男性陣を決めていざ本番です。出発出来たのは九時二十分を過ぎていました。

仮設避難所までの担架搬送は思いのほか大変で、途中二回ばかり小休止しました。日頃やりなれていない男性陣、脚を骨折して担架に載せられた「内苑



担架で搬送

将成」君、大丈夫かなと内心不安の様子。

仮設避難所にたどり着いた時は、既に他の自治会の参加者は集合されていました。

総代挨拶、来賓挨拶、田原本警察署長他、三宅消防団第三分団員紹介などがあり、そして本番の訓練が始まりました。

先ず、テント張り訓練です。手慣れた自治会役員などが率先して実施。このテントは風雨を防ぐ目的以外に、横幕を張ればプライベートを守る目的もあるのでと言う説明には納得。

地震発生時の体の体勢の取り方、火事時の放水見学、消火器の扱い方訓練、炊き出し用ガスコンロの取扱い訓練（なかなか火がつかない原理をマスター）、三角巾を使つての応急処置訓練、チェーンソーの扱い方訓練など多彩な訓練が実施されました。

日頃、消火器など実際に扱ったことのない私には大いに役立ち（自信がつき）非常に有意義な訓練であったと思っています。訓練終了後にふるまわれた豚汁は本当においしかったです。ろくに朝ご飯も食べずに訓練に参加した私にとっては有難い朝食でした。

後かたづけ参加組の私は、豚汁が若干残っているの聞いて、二杯目もペロリ。石見婦人会の豚汁製作班に感謝した次第です。



おいしい豚汁

避難訓練

三宅小学校五年生 矢追 七海
私は、避難訓練に行つていろんな事を知りました。

一つ目は、地震が起きた時の避難場所へ行く道です。歩きながら、「この道を知つておかないと困るのは自分だ。」と思ひました。二つ目は、地震が起きた時の体勢です。この体勢を時々、皆に見えない所で練習しています。地震は、いつ、どこで起きるかわかりません。だから、地震がいつ起きてもいいように食料なども用意をしなければならぬと思ひました。

三宅小学校二年生 矢追 昌希
ぼくは、じしんがきたときに、どんな体せいをするかや、タオルをどんなふうにつかうかを学びました。タオルをくくつたりするのがむずかしかったです。つくえの下にもぐつてつくえの足をささえるのも学びました。テントをつくつてるところも見たいへんそうでした。

防災訓練に参加して

中町一丁目 来間 宏至

去る十一月二十四日九時、中町一丁目班は、地区一時避難所の新池防災倉庫前に約十名が集合し、人員確認後、自治会防災訓練場所へ避難道路を歩いて移動。

あちこちから各地区の方々が沢山集まり訓練が始まった。

今年台風などの集中豪雨にみまわれる災害が多発し、被災された方々も多く、その苦勞を思いつつ訓練に参加した。

今回の参加者は百五十数名でした。

▼テント張りの実演を見学

▼三角巾での救急処置法

▼消火器消火訓練

▼消火栓放水訓練

一通りの基礎訓練が終了した後、婦人会の炊き出しの豚汁をおいしくいただいて帰途についた。

例年通り一連の訓練でしたが、毎年継続することで普段忘れがちな防災に対する意識づけになり、本番では集まった方々と助け合い避難生活をするわけです。



百五十名を超える参加者

また、地域の人々とのつながり・助け合いの大切さを学ぶ機会となりました。

次回から多くの方々の参加を望みます。改めて我が家の防災グッズの見直し。各自治会にある消火栓と消火用具収納箱の位置の確認など、防災意識の向上に役立つ一日でした。ありがとうございました。

防災訓練に参加して

中町三丁目 村田 泰孝

好天に恵まれた十一月二十四日、石見大宇防災総合訓練が仮設避難所を会場に開かれた。

今回は、『奈良県北部直下を震源域とするM六・九の地震が発生し、奈良県北部において震度「六強」を観測した』との想定で実施。災害時における減災を図る目的で訓練をした。

先ず、初めに町内で決められた一時避難所へ集合し、そこから仮設避難所へと移動した。中町三丁目は車椅子の避難者がいるということで、その要請を行い実際に乗って移動した。避難経路には狭い道あり、ブロック塀ありと危険がいっぱい。実際に一つ一つ確かめながら進んだ。

次にテントの設営・三角巾の使い方や消火器の使い方などグループに分かれて実際に練習をした。

私は今回が初めての参加。いざという時

になったらどこまでできるのか自信がない。

近い将来必ず起こるであろう地震について、危機感を持って望まなければならないと再確認させられた。

この文を書いている今も、和歌山沖で小さな地震が何度も起こっている。「奈良盆地は大丈夫」という変な自信を捨てることだ。何も起こっていない今がたまたまであるとならなければならない。

最後に婦人会の皆さんが作ってくださいましたおいしい豚汁をいただいて訓練を終えた。

防災訓練

三宅小学校六年生 上谷 梨菓

三年生 上谷 月碧

私はリヤカーを見ていて、老人がもし乗ることがあつたらせまいし、おしりが冷たいと思います。だから、ざぶとんか毛布を引いた方がいいと思いました。

あと、婦人会の人が作ってくれたとん汁がとてもおいしくておかわりしたいぐらいでした。

消火きを使っているのを見ていて楽しそうだなと思った。テントのたて方が分かったからお手伝いできそう。三角さんの使い方を教えてもらってよくわかった。「へーなるほど」と思うことがたくさんあつた。いろいろおしえてくださってありがとう。

チャレンジしよう!! 防災クイズ

<p>問1 震度は地震のゆれの強さを表していますが、日本では何段階ですか？</p> <p>①7段階</p> <p>②9段階</p> <p>③10段階</p>	<p>問2 エレベーターに乗っている時、地震が発生した場合、最も適切な行動は？</p> <p>①1階のボタンを押す</p> <p>②そのままじっとしている</p> <p>③全ての階のボタンを押す</p>
<p>問3 地震のエネルギーの大きさを表すマグニチュードが「1」増えるとエネルギーは約何倍？</p> <p>①約2倍</p> <p>②約10倍</p> <p>③約30倍</p>	<p>問4 地震発生直後の避難の方法で、最も適切なものは？</p> <p>①近所の人と声を掛け合って避難する</p> <p>②避難所の生活に備え、持てる荷物はすべて持って避難する</p> <p>③一人で身軽に避難する</p>
<p>問5 9月1日の「防災の日」は、次のどの地震をきっかけに定められたか？</p> <p>①明治三陸地震</p> <p>②関東大震災</p> <p>③阪神・淡路大震災</p>	<p>問6 地下街にいる時に地震が発生した場合、最も適切な行動は？</p> <p>①急いで地上へ出る</p> <p>②まず119番に電話して救急車を要請する</p> <p>③落ち着いて様子を見る</p>
<p>問7 海洋プレートが沈み込んでいる場所を「海溝」というが、世界で最も深い海溝は？</p> <p>①フィリピン海溝</p> <p>②マリアナ海溝</p> <p>③日本海溝</p>	<p>問8 警戒宣言が発せられたことをサイレンで知らせる場合、正しいのは？</p> <p>①約60秒ならして、約15秒休む</p> <p>②約45秒ならして、約15秒休む</p> <p>③約30秒ならして、約10秒休む</p>
<p>問9 海の近くにいる時、地震が発生しました。すぐにとるべき行動は？</p> <p>①より遠く、より高いところに避難する</p> <p>②まずラジオ等で地震の情報を収集する</p> <p>③海面の様子を観察する</p>	<p>問10 大地震により帰宅が困難になった場合に備えて、普段から取り組んでおくべきことは？</p> <p>①すぐに公共交通機関で帰宅できるように、周辺の駅や路線を複数調べておく</p> <p>②混乱を避け翌日帰宅できるように、食料や飲料水を備蓄するなど、職場に泊まれる準備をしておく</p> <p>③家族に来る間で迎えにきてもらうよう頼んでおく</p>

48名の方々に提出いただいた防災クイズの集計結果について、平均正答率は50%でした。全問正解の方はおられず、最高は8問正解が2名、7問正解が7名、6問正解が7名、4問正解が10名となっています。あなたは、何問正解できましたか？ **【正解は次のページ】**

石見防災訓練に参加して

日本防災士会奈良県支部事務局

村山 央

今日の石見地区の防災訓練では、川口総代、中條防災委員長を中心に、熱心に地域の防災活動を勧められ、みなさんの防災意識の高さに感謝いたします。

災害は必ず起こります。その時、あわてることなく物よりも命を守る行動をとることが最も大切です。その後の地域の助け合いにも、訓練が活きてきます。

大変勉強になりました。広陵町も見習います。豚汁もおいしかったです。

ありがとうございます。



訓練の様子

【正解】

問1 ③

震度は0から7までであり、震度5と震度6には「弱」と「強」があるため10段階になります。

問2 ③

全ての階のボタンを押し、最初に止まった階で降りましょう。

問3 ③

マグニチュードが1増えれば、地震波のエネルギーは約30倍となり、2増えれば1000倍にもなります

問4 ①

単独行動は危険を伴うことがあります。

また、荷物で両手がふさがってしまったことも避難の妨害になる場合があります。

問5 ②

10万人を超える死者を・行方不明者を出した関東大震災（大正一二年9月1日）に因み、昭和三五年に定められました。

問6 ③

あわてて非常口に殺到するとかえって危険です。警備員等の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。

問7 ②

フリリピン海溝	10000m
マリアナ海溝	10911m
日本海溝	8020m

問8 ②

大規模地震対策特別措置法施行規則第4条によりさだめられています。

問9 ①

海の近くで地震を感じたり、津波警報を聞いたら、すぐに避難行動を開始し、「より早く、より高い場所」に避難しましょう。

問10 ②

大きな地震が起きると多くの交通機関が運休します。

また、二次災害（火災・落下物・転倒等）に巻き込まれる恐れがあるため、むやみに移動を開始しないことが大切です。

正確な情報収集、家族や自宅の無事も確認しましょう。



秋祭りについて

私は生まれも育ちも石見です。

今年の秋祭りは、秋雨前線にもかかわらず二日間盛大に執り行われ、御参りの方々、役員さん大変お疲れ様でした。

宵宮での御神楽奉納は無事出来ました、子どもが楽しみにしていました綿菓子作りが出来なくて、孫がぐづぐづ言っていました。

また、祭りでの子どもみこし等も中止になり非常に残念でした。

昔は、一年のお祝い事で伝統的な行事は、一月に大とんど、五月に野神さん、七月にぎおんさん（田原本）そして、十月秋祭りで、子どもながら楽しみにしていました。昔の秋祭りには宵宮で多くの夜店が出て食べたり遊んだりすることが楽しみでした。

お祭りになると、わが家ではお餅をついたり、日頃にはない鶏肉など、ごちそうを食べたものです。

少子化が進み、最近神社で遊ぶ



子どもさんは殆ど見かけなくなり、遊びそのものも大きく変貌したと思います。

子どもたちが受け継いできた伝統行事の野神さんの存続が危ぶまれつつあります。現在は、自治会役員で運営されている状態です。

最近、心がわくわくドキドキする事が少なくなりしました。子ども時代の思い出作り、故郷の伝統の大切さを痛感しております。

五穀豊穰・氏子繁栄をお祈りする石見の伝統ある行事は、先輩の方々から後輩が引き継ぎ、今後も守り続けるように願っています。

（良垣内自治会長 堀内 庄左エ門）

人権教育地区別懇談会

石見自治会の地区懇では、高齢化社会に関する問題を提起され、森田広報委員長の司会で六人七人づつのグループに分かれ、和気あいあいとした中で自分の考えを出しながら、グループとしての意見をまとめていかれました。

特に日常生活の困っていることや介護の問題、また友愛チームの活動、デイサービスのことなど、たくさんの方が話題にあがっていました。

最後のまとめでは、

①いつまでも健康で生活ができるように、まず自分の健康に気をつけて、毎日を暮らしましょう。

②「向こう三軒両隣」のように近所が交流を持ち、もしもの時はお互いが助け合えるようにしましょう。

③自分、隣近所、地域がバランス良く働き合っていてこそ、これからの高齢化社会を乗り切ることができるとはならないでしょうか。

ということ、意見をまとめて散会となりました。忙しい中、多くの参加をいただきありがとうございました。



相談窓口

三宅町地域包括支援センター

（☎四三二二五二二）

高齢者の方々の生活を、介護や健康などさまざまな面から支援するための拠点
三宅町社会福祉協議会

（☎四三二二〇七八）

地域福祉、生活福祉、在宅福祉を担当

石見老人クラブ福寿会
親睦旅行

十二月五日・六日、一泊二日総勢二十九名で飛騨路下呂温泉に行ってきました。

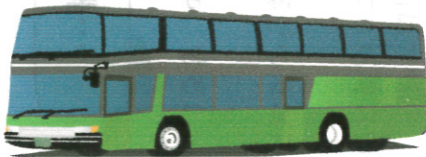
一日目、午前八時三十分、高等技術専門学校東側に集合出発して伊賀上野でトイレ休憩。東名阪・名神・東海北陸道の高速道路経由、途中フェザーミュージアム見学後美濃で昼食。多少アルコールも入り車中是一段と賑やかになり、一日目の目的地地下呂温泉に向かい、飛水峡・中山七里等、車窓より山々の紅葉を観ることが出来ました。

午後四時三十分頃予定通り下呂温泉「ホテルくさかべアルメリア」に到着。

車内で部屋割りのカードを配付してあったので、それぞれの部屋に別れ、夕食まで温泉に入浴、館内売店散策、自由時間を過ごして、午後六時三十分より中広間にての夕食でした。

約二時間余りの間、カラオケ・踊り等に興じて、それぞれ部屋にもどりました。

二日目、午前七時三十分朝食、八時三十分ホテルを出発して馬籠宿で自由散策、ちこり村見学、恵那峡（昼食）、一路中央道・名神高速経由、



キリンビール名古屋工場見学、最後に試飲コーナーにて一人コップ三杯まで……。これが一番の目的の人が多かったかも……。

上機嫌になって車中は又々賑やかでした。最後は伊賀上野にてトイレ休憩して、予定より約三十分遅れで石見へ帰着しました。

一泊二日の親睦旅行を通じて、まず天気にも恵まれ、参加者が和やかに楽しく無事だったことが何よりのおみやげで想い出になりました。そして次回もまた行こうと元気をいただいた旅行でした。

(福寿会会長 須藤 智)

石見文庫おはなし会盛会

去る十二月一日午前十時〜十一時三十分、第十八回石見文庫おはなし会を開催いたしました。

大人二十五名、子ども二十六名、スタッフ十八名で楽しい時間を共有出来ました。ご参加くださったみなさんありがとうございました。

(石見文庫会員一同)



公民館が明るくなりました

永年公民館の「網戸洗い・窓拭き」を担当して下さってました育桜会が解散となり困ってましたら、先日婦人会役員の方々が快く引き受け実施してくださいました。

会話を弾ませながら女性パワーで手際よく窓拭きが終了しました。

夏の汚れを落とし美しく仕上がりに、窓辺には暖かなお日様が差し込んでおります。

それまでも、座布団カバーの洗濯も手伝っていただきました。

本当にありがとうございました。

今後も公民館をご利用の各種団体の皆様には、「網戸洗い」等、ご理解とご協力をお願いいたします。

(石見公民館より 梶 公子)



婦人会の皆様ご苦労様

石見に住んで一年半……

「石見だより」の発行五十号、おめでとうございます。

私は昨年七月に北海道の小樽から石見に引っ越してまいりました。

歴史の浅い北海道に生まれ育った私にとって、歴史ある奈良は憧れの地でした。

とは言え気候風土の異なる土地に馴染めるか、若干の不安もありました。

しかし、案ずるよりは何とかで、住んでみると近所の皆様はじめ出会う方、出会う方、親切ない方ばかりで、大変心地良く暮らせていただいています。

ベランダにできた蜂の巣を見つけて退治して下さったり、帰省や旅行で留守にする際のプランターの水やりを快く引き受けくださったり……。

うちではヨークイという小型犬を飼っているのですが、まずお散歩時の挨拶からお付き合いが始まりました。今春、ビー



秋祭り演芸カラオケ大会へ参加

三宅町友愛チーム訪問活動

目的

ひとり暮らし高齢者などの孤独感を和らげ、お互いの友愛を高めるために、友愛チームのメンバーは定期的に訪問し、お話の相手をしたり安否を確認したり、気軽に集まれるサロン活動等を行います。

対象のかた

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者など(高齢のご夫婦)で、友愛チーム訪問が必要な方

チボールとテニスサークルに入れていただき、一気に知人・友人が増えました。どのサークルも皆さん丁寧に指導してくださるので、初心者ですが楽しく運動しています。

下手ながらギターやボーカルの習っていたので、石見公民館の演芸大会にも出していただきました。

小樽と同様、石見も高齢化が進んでいるようなのが気がかりです。

これからは、ご高齢の方へのお声かけの友愛チームに参加して、地域の皆様に少しずつ受けたご親切をお返ししていければと思っています。

今後ともよろしくお願いします。

(南町一丁目 川 鱒 実希子)

編集あとがき

記念すべき五十号を新しい年明けにお届け出来ましたこと、また、係わった「縁」に慶びを感じます。

創刊号のページに懐かしい想いを巡らされる方々も多いことでしょう。

秋祭りが終わった頃より五十号への寄稿が始まり、住民参加の防災訓練、婦人会の網戸洗い、石見文庫おはなし会、地区別懇談会と自治会行事が終わる度、快くペンをお執りくださったみなさん、ありがとうございました。

昨年河合町より発信された「自治会ニュースコンクール」に応募しましたところ、奇しくも受賞の栄に浴し、本年も応募することに決定しました。

次の節目、石見だより百号が発刊される頃は、自治会活動は勿論のこと、当紙が一段と会員の絆を深める機関紙となるために、みなさんのパワーと協力を期待しております。

開ければ五十号の「時」ありて

たたまれて煮る自治会の報

広報委員



マンリョウ